

水産物の市況について(令和7年9月及び令和7年10月)

—東京都中央卸売市場における令和7年9月(令和7年8月21日～令和7年9月20日集計)の市況と、
令和7年10月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から増加で推移し、前年同月比ではかなり増加で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや弱含みで推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。

II 令和7年10月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

好調だった常磐沖では9月中旬に漁が途切れた。一方で、今後も道東沖ではまとまった漁獲が続き、小型サイズ主体に水揚げされるとみられる。東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀さけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

今後も引き続き東シナ海を中心とした漁獲が続くとみられ、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

引き続き太平洋側ではまとまった漁獲がみられるものの、日本海側は低調に推移すると予想され、生鮮物の東京への入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

今後も山陰や九州を中心とした水揚げが続くとみられるが、低調に推移すると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

今後、漁期終盤で産地の水揚げ量は徐々に減少すると予想され、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

中短期漁況予報によれば、10月の道東・三陸海域への来遊量は増加するとみられ、東京への入荷量はやや増加し、需要期であることから、卸売価格は横ばい～やや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	9月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	28	1,549	23	1,630	25	1,591
前年	23	1,524	24	1,558	27	1,517

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	9月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	428	84	74	81
さけ類(平均)	1,382	98	106	126
(ぎんざけ塩蔵品)	1,405	101	109	129
(あきさけ塩蔵品)	1,510	153	121	154
(べにざけ塩蔵品)	1,479	86	99	101
(さけ類冷凍品)	1,414	97	110	131
さば(生鮮品)	622	104	112	118
するめいか(平均)	1,012	100	73	102
(生鮮品)	970	106	77	99
(冷凍品)	1,843	100	95	177
あじ(生鮮品)	771	101	115	117
まぐろ(冷凍品)	2,027	107	119	121
(めばち冷凍品)	1,380	105	124	120
(きはだ冷凍品)	1,147	107	104	100
(くろまぐろ冷凍品)	3,719	100	111	108
(みなみまぐろ冷凍品)	2,294	103	112	110
かつお(生鮮品)	727	78	118	121
さんま(生鮮品)	952	73	77	78

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:9月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年~令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613